

電磁気学演習 第1回 (2004.12.6)

問1 ベクトルの内積と外積に関する以下の問に答えよ。

- (1) 二次元のベクトル $\vec{A} = (A_x, A_y)$ と $\vec{B} = (B_x, B_y)$ の内積 $\vec{A} \cdot \vec{B}$ を求めたい。下記の成分で表されるベクトル \vec{A} と \vec{B} を図示せよ。さらに、内積の値を $A_x B_x + A_y B_y$ と、 $|\vec{A}||\vec{B}|\cos\theta$ (θ は \vec{A} と \vec{B} のなす角) の二通りの方法で計算し、表の空欄を埋めよ。

(a) $\vec{A} = (1, 0), \vec{B} = (1, 1)$

(b) $\vec{A} = (\sqrt{3}, 1), \vec{B} = (1, \sqrt{3})$

- (2) 三次元のベクトル $\vec{A} = (A_x, A_y, A_z)$ と $\vec{B} = (B_x, B_y, B_z)$ の外積 $\vec{C} = \vec{A} \times \vec{B}$ を求めたい。下記の成分で表されるベクトル \vec{A} と \vec{B} 及び \vec{C} を xy 平面と yz 平面に投影した図を示せ。さらに、外積の大きさ $|\vec{C}|$ を、 $\sqrt{(A_y B_z - A_z B_y)^2 + (A_z B_x - A_x B_z)^2 + (A_x B_y - A_y B_x)^2}$ と、 $|\vec{A}||\vec{B}|\sin\theta$ (θ は \vec{A} と \vec{B} のなす角) の二通りの方法で計算し、表の空欄を埋めよ。

(a) $\vec{A} = (1, 1, 1), \vec{B} = (1, 1, 0)$

(b) $\vec{A} = (\sqrt{3}, 0, 1), \vec{B} = (1, \sqrt{3}, 0)$

問2 二次元空間内で定義されたスカラー A とベクトル $\vec{B}(B_x, B_y)$ に対し、解答用紙の格子点(印)において $\vec{\alpha} = \text{grad } A$ と $\beta = \text{div } \vec{B}$ を計算し図示せよ。ベクトル $\vec{\alpha}$ についてはその向きと大きさを矢印でなるべく正確に、スカラー β に対してはその大きさを数値で書き入れよ。

$$\text{grad } A = \left(\frac{\partial A}{\partial x}, \frac{\partial A}{\partial y} \right)$$

$$\text{div } \vec{B} = \frac{\partial B_x}{\partial x} + \frac{\partial B_y}{\partial y}$$

(1) $A(x, y) = 1/\sqrt{x^2 + y^2}$

(2) $B_x(x, y) = x^2 y / \sqrt{x^2 + y^2}, B_y(x, y) = xy^2 / \sqrt{x^2 + y^2}$

問3 半径 a の球内に一様な密度 ρ で電荷(総量 Q) が分布しているとき、球内と球外の電場の強さ $E(r)$ を中心からの距離 r の関数として求めたい。以下の問に答えよ。

- (1) ガウスの法則の積分形 $\int_S \vec{E}(r) \cdot d\vec{S} = Q/\epsilon_0$ を用いて、(i) $r \leq a$ と(ii) $r \geq a$ における電場を求め、図示せよ。

- (2) 距離 $\vec{r} = (x, y, z)$ の点における電位 $V(\vec{r})$ は次式で与えられる。(教科書 p.40-41 参照)

(i) $V(x, y, z) = \frac{\rho(3a^2 - x^2 - y^2 - z^2)}{6\epsilon_0}$

(ii) $V(x, y, z) = \frac{\rho a^3}{3\epsilon_0 \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}}$

$\vec{E}(x, y, z) = -\text{grad } V(x, y, z)$ の式から、電場の各成分 E_x, E_y, E_z を求めよ。

- (3) (2)で求めた電場に対し、 $\text{div } \vec{E}$ を計算し、ガウスの法則の微分形を満たすことを確認せよ。(i)と(ii)の領域で電場の湧き出しの有無について述べよ。